今月の表紙

春の陽気と満開の桜に誘われて

平年より数日早く開花した今年の桜は、4月4日頃に見ごろを迎えました。このうち、鳥取市東町の久松公園周辺では、満開の桜の下で花見客らが写真撮影や食事などを楽しんだほか、夜には桜や鳥取城跡擬宝珠橋がライトアップされるなど、昼と夜と別の顔で花見客を魅了しました。このほか国府町にある重要文化財「旧美歎水源地水道施設」や鹿野町の「鹿野城跡公園」でも満開の桜が美しいロケーションを演出し、春の陽気と相まって多くの花見客で賑わいました。

○表紙をスマートフォンで読み取ると動画をご覧いただけます。

視聴方法についての詳しい手順は、右のQRコードを読み取りいただくか、下記URLからどうぞ！

http://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1533694264436/index.html

PUBLIC INFORMATION

鳥取市の人口

男	：	90,211 人	[- 379]
女	：	97,077 人	[- 292]
合　計	：	187,288 人	[- 671]
世帯数	：	79,755	[- 142]

平成31年4月1日現在［　］内は前月比

防災行政無線の内容は電話で確認できます

防災行政無線の放送内容が聞き取れなかったときなど、放送内容の確認をしたいときは、「防災行政無線放送内容確認ダイヤル」へお電話ください。

※本庁舎から一斉放送したものに限ります。

TEL 0857-21-6100

とっとり市報

Contents　-目次-

今月の表紙・人口・主な連絡先	P2
特集　令和元年度当初予算について	P3-5
特集　風しんの抗体検査と予防接種について	P6-7
特集　中山間集落見守り活動事業	P8
連載　鳥取市の新たな拠点　新本庁舎建設について	P9
まちかどアルバム、第30回全国緑の愛護のつどい	P10-11
ピックアップインフォメーション	P12-15
令和元年度「健康診査」・「がん検診」受診情報	P16-17
健康・病院	P18-19
情報ひろば、無料相談	P20-29
各施設催し物のご案内	P30-31
5月のカレンダー、読者プレゼント	P32

鳥取市役所
TEL 0857-22-8111(代)
FAX 0857-20-3040
〒680-8571（郵便物は郵便番号と課名のみで届きます）
本　庁　舎　尚徳町116番地
第二庁舎　上魚町39番地
駅南庁舎　富安二丁目138番地4
さざんか会館　富安二丁目104番地2
下水道庁舎　秋里903番地

各総合支所
国府 TEL 0857-39-0555 FAX 0857-27-3064
福部 TEL 0857-75-2811 FAX 0857-74-3714
河原 TEL 0858-76-3111 FAX 0858-85-0672
用瀬 TEL 0858-87-2111 FAX 0858-87-2270
佐治 TEL 0858-88-0211 FAX 0858-89-1552
気高 TEL 0857-82-0011 FAX 0857-82-1067
鹿野 TEL 0857-84-2011 FAX 0857-84-2598
青谷 TEL 0857-85-0011 FAX 0857-85-1049

鳥取市公式ホームページ
http://www.city.tottori.lg.jp/

携帯電話対応ホームページ
http://www.city.tottori.lg.jp/mobile/

電子メール
kouhou@city.tottori.lg.jp

お持ち帰り用の市報を、地区公民館などに設置しています。どうぞご利用ください。

編集・発行
鳥取市企画推進部秘書課広報室
TEL 0857-20-3132 FAX 0857-20-3056
発行／令和元年５月１日
印刷／日ノ丸印刷株式会社

特集【令和元年度当初予算】

〝新たな時代をリードし、確かな未来を創造する〟予算

問 本庁舎行財政改革課　TEL 0857-7-3111　FAX 0857-7-2020　0857-2-3040

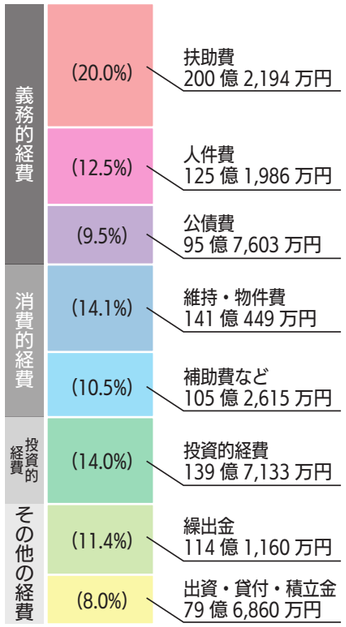
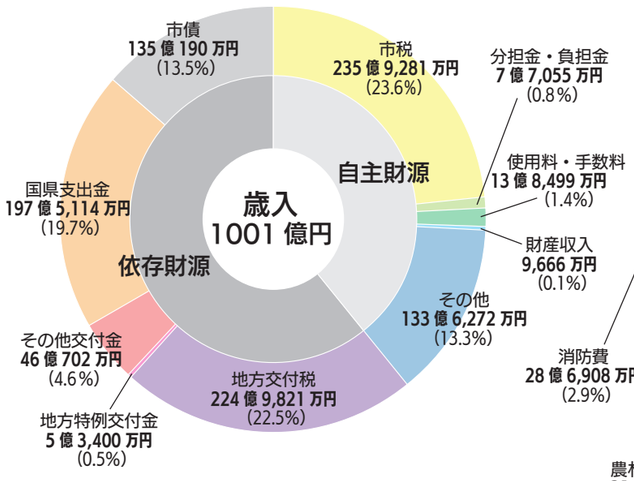
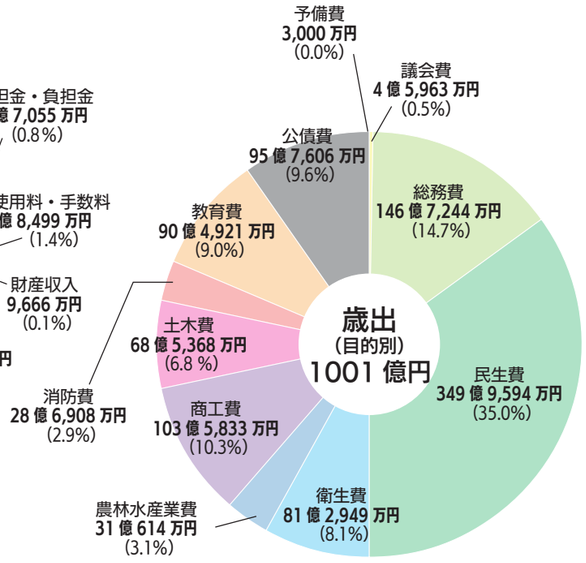
過去最大規模の予算

令和元年度は、新元号への移行や市制施行130周年となる節目の年とあわせ、新本庁舎が開庁を迎える輝かしい年です。

また、本市が、地域経済や住民生活を支える拠点となる「中枢中核都市」として力強く前進していく重要な年となります。当初予算では新本庁舎整備をはじめとする切れ目のない重要施策や、相次ぐ自然災害に対する防災・減災対策、市民の暮らしを支える医療・福祉・子育て施策、さらには連携中枢都市圏域で取り組む地方創生の施策などを盛り込み、「〝新たな時代をリードし、確かな未来を創造する〟予算」として、はじめて1000億円（対前年度肉付後比1・2％増）を超える〝積極型予算〟を編成しました。

一方で、基金（貯金）の取り崩しは必要最小限に抑えるとともに、市債（借入金）の返済金となる公債費は縮減し、将来に負担を先送りしない財政運営に努めています。

今後も中枢中核都市として圏域をリードし、発展へと導き、いつまでも暮らしたくなるまちづくりを目指し、さまざまな取り組みを戦略的かつ強力に展開していきます。

一般会計 1,001億円
※(　)…構成比

歳出（性質別）